



月影の  
至らぬ里は  
なけれども  
眺むる人の  
心にぞすむ

◆ つきかげ ◆ 法然上人作



通巻 68 号  
**R4秋彼岸**

発行所  
〒640-0332  
和歌山市冬野1700

兩部山  
**観音寺中**

Tel 073-479-2634

発行責任者 樽本充典

九月二十日(火)〜二十六日(月)  
**「秋彼岸会」** ねら **狙われる因縁不安** いんねんふあん

◆ 巧妙な罠―先祖の因縁―

ある日、「手相や姓名判断に興味ありませんか」と尋ねてきた若い女性。夫が四二歳で脳溢血で倒れ、五一歳でガンで早逝し、夫の父母は六十代と五十代で亡くなっていた。東京近郊で農業を引き継ぎながら子育てに多忙な日々を送っていたAさんにも、嫁いできたこの家の人たちの早死のことが普段から少し気になっただけで、問われるままに話した。するとその女性はすかさず「専門の先生」に相談することをお勧めされて、駅前のレストランの一室に連れて行かれたのです。そこで「家系や先祖の因縁の話」のビデオを視聴した後に先生と呼ばれる女性から「Aさんの家系は衰退しつつある。長男に男の子が生まれたのは奇跡に近い」「三代の間に寿命をほぼ一〇年ずつ縮めている」など指摘された後にここに通って勉強

するよう勧められたそうです。

怪しいと思いつつも気にならず先祖の因縁。

一カ月後行くとその先生から「財には因縁がついているから



昨年花盛りから一転、咲かない鉢が多かった今年の蓮花

れる先生がいて、「家系衰運の原因は、A家の多くの財産に問題がある。人の恨みがあるかも知れない。先祖の徳がある間は守られているが、それがなくなってきたので、あなたが穴埋めのために徳を積まなければならぬ」と告げたそうです。そしてこの鑑定士の先生はAさんに一千万円の借入を申し込み、応じて貰えるまで何度も財の因縁の話を通り返し、Aさんは根負けして承諾。三ヶ月後に、ここが「統一教会」であることを明かされたAさんでしたが、このとき既に先祖の因縁という話に取り込まれていて、言われるがままだったと言います。

◆ 「献金」が悪因縁を解く

一千万円の借入は、四百万円が返済され、残りの六百万円は「A家の財の因縁を解くために」献金して天に捧げて欲しい、そうしないと息子と孫にどんな災

◆ 家系衰退の因縁―

別の場所には「鑑定士」と呼ば

聖塩で清めなければならぬ。預金はいくらあるか」と尋ねられ、一千万円くらいあると答えるところ、別の勉強する場所を紹介されたそうです。

難がふりかかるか分からない」と言われたAさん。ほんの少し気になっていた不安が統一教会が巧妙に準備した洗脳の罫で全身で受け止めなければならぬほど大きくなり献金を承知してしまいました。これ以降、Aさんの統一協会に対する献金は四〇回近く、総額で五億四七〇〇万に上りました。後に訴訟が起こされ、最高裁で統一教会に対して半額の二億八千万の賠償命令が確定しています。

知らず知らずはまってしまったAさん。子や孫達に先祖の悪因縁の災いが降りかかりますよ、それを解消するには天に献金が必要ですよ、との協会側の勧めに「私としては子や孫の命のことを言われると、心配だっただけに本気で何とかしないとイケないと思います、言われるとおりにするしかなかったのです」と、証言されています。

統一教会は現実に不幸を背負っている人々にも近づきます。但し、献金可能な人が条件だそうです。かつて癌を不治の病とみんなが思っていた時代、前出の一番

手の若い女性がAさんに使った同じ手口で患者の家族に近づき、知らず知らず統一教会へ入信させられ、高額な壺を買えば先祖の悪因縁が消え、病気が治る等のいわゆる霊感商法の被害者が多く生まれ、社会問題になりました。

◆心のすきまと「現世利益」

Aさんや重病を患って不安を身近に感じ無くて済んでいる人でもお金を出してでも手に入れたいと思うのが「長命」と、「不幸が身に及ばない秘策」です。まして、「余命〇〇カ月」の宣告を受けた患者の家族は本人の病状の改善と一日でも長くこの世で生きていてくれることをワラをもすがる思いで願ひ続けます。皆さんの中にも経験された方もおられるでしょう。そんな時差し伸べられる多くの手。ほとんどは利害に群がる手。コレを飲めば、コレを塗れば、この神様を拝めば、この仏様を拝めば、・・・「癌」が消えた人がおられますよ、と。選ぶのに困るほどの人の不幸に群がる手に人の世の心の貧しさを感じながらも話を聞いてくれて、利害のないこ

とを装って寄り添ってくれて「これいいよ」と、勧めてくれる手があれば、ダメ元でもとすがりたくなるのが私達ではないでしょうか。叶えられない現世利益を求めが故に余計に湧き起こってくる心の「不安」。この「不安」を解消してくれる「手」に信頼を置いてしまうのです。

◆「安心」の努力を怠る人々

既存のお寺とか、神社とかには、学校や仕事や結婚で移動するにしろ、自身が生まれたときから死ぬまで、さらにはご先祖も含めて長い長い目で見ると、「生涯見護ってくれている」と

いう安心の「現世利益」が有ります。お寺やお宮によく参り、仏壇やお墓を大事にすれば自然と「護って下さっている」という安心をいただけるのに、身近にあるモノを大事にしないといつまで経っても不安がつきまといまいます。こつちよりあつちの仏さんの方が御利益あると聴けば心が動かされます。右往左往してると心は養う機会を失います。雨の日も風の日も上天気の日も愚かな自分を護って下さることをお願い続けて初めて安心が身につきまします。お彼岸！安心を身につけるスタートにして下さい。

お盆の「お寺環境活動」御礼とお願い！

皆様のご協力によりまして、お盆の「墓参り」の分別処理がほぼ問題なく終わることが出来ました。有り難うございました。お施餓鬼の塔婆も古いのを出していただき有り難うございました。今後場所の整備に取り組みます。今回気づいた点、左にマトメてみました、

- ①紙 箱：紙はまるめず折りたたんで箱に入れてください。
- ②プラ箱：最近まれに墓花にプラ花が混じっています。プラ花はプラ箱へ入れてください。

③お供物：お酒、ビール等のお供物は、一旦お供えされ、手を合わせられた後、すぐその日の内にお持ち帰りください。

「秋彼岸」の折りにはこれらの点も配慮いただきますと助かります。よろしくお願ひします。そうじ主任住職

# 「蓮の華」通信

文：坊守

「お盆号」に嫁・姑の事を書いたところ、me too (わたしも) 覚えがあると、多くのお話を聞く機会に恵まれました。

折り合いの悪かった昔の話もあれば、今現在抱えている問題を話して下さった方もおられ、色々なエピソードを語って下さいました。同居、別居に関わらずこれは永遠のテーマなのだとつくづく感じさせられました。

実の親子でさえ円満な関係を保つのは難しいのに、義理であればなおさらです。しかし、世の中には本当の親子か姉妹の様に仲良く円満な関係を続けておられる方々もおられ、学ばないといけないと思います。

嫁・姑問題は二人だけの問題では無く、息子である夫のサポートが必須で、夫の立ち位置が実はとても重要であると言うのが一致した皆さんの思いでした。パイプ役にと大いに期待するのですが、どちらのご家庭でもほぼパイプ役にはなってくれず、憤懣やるかたないようです。嫁

の多くは夫の母親のことだから、悪く言ったり不満を言わない方が多い、と遠慮して控えている場合が多い。そうすると夫の方は、辛い思いを耐えていることをそもそも知らなかったり、気付かなかつたりするのが理由のようです。もつとも知っているのに気付かないフリしてやり過ごしてきたご主人方は今片腹痛い思いをさ

れているのでは。三つ巴のいがみ合いを避け、嫁は堪忍袋に堪忍を詰め込んで過ごして来たんです。お互いがまだしつかりしているうちにしつかり言葉にして労うことも大切です。

そもそも解決策なんて無いのですから、夫の役目としてひたすら話を聞くことも大切です。間違っても、口が裂けても「あんたも悪かったんや」とは言わないように。大変なことになるのみ

ます。唯々聞いて共感有るのみです。



です。

「うちの嫁は気が効かん出来の悪い嫁や！」と聞こえよがしに言う義母に、嫁は「お義母さんお迎えが来ましたヨ！」「お迎えが来ましたヨ！」と、デイサービスとの送迎車の到着を知らせると、義母は「大きな声でお迎えお迎え言うな！」と返してきた。自分が先にイヤミを言ってもご自分は超デリケー

ト。こんな話で済めばいいですが、度が過ぎればどちらかが体調を崩したり、精神が不安定になったりもします。相手を尊重しながら率直に自分の意見が言えたら、醜い争いも起こらないのになあと思うのですが、そう行かないのが嫁と姑。

私方も昔は理不尽な事があつたりしましたが、時を経れば爆笑してしまう内容の話が多く、時々住職に話すのですが、「この話で本一冊書けるなあ」と、気楽なもんです。パイプ役になれなかつたのに一緒に笑う神経に反省の色は見られません。一足先に旅立たれたお姑さん

達はお浄土で修業を積まれてほば仏になられておられるでしょう。少しづつ慈悲の光を放って、こつちの私達を包み込んで下さつてる事と思います。折り合いが悪くても、お浄土へ行けば温顔の世界が用意されています。お互い愚かだったこと、至らなかつたことを恥ずかしく思う事ことでしよう。嫁・姑の永遠のテーマは立場が入れ替わりながらこの先も続くことでしょう。願わくは浄土でこだわりなく暮らせるより現世で仲良く過ごせるのが理想ですね。合掌

## ◆平成大修築会計

昨秋にご報告申し上げましたように、R3年度はR4年度と合算し来秋に報告申し上げます。観音寺檀徒総代一同・住職

### ◆編集後記

第七次のコロナ

感染が爆発するなか観音寺のお盆はヨレヨレながらも大過なく終了。来年のこと、言うたら鬼が笑うので不明です。符の谷池の濁水で田んぼの心配続くなか来襲の台風十一号。国葬と統一教会で賑わう政界とマスコミ。ロシアのウクライナ侵攻が未だ止まらず、円安と物価高と不安に喘ぐ国民。今年の秋も大変な世の中。ご本尊に手を合わせ安心を養い続けましょう。

# 冬野観音寺《R4秋彼岸日程》とお詣り作法

## 〈法要等日程〉

|            |   |
|------------|---|
| 9月20日(火)   | 夜7:30~入り法要 開白法要と参詣各家廻向                          |
| 21日(水)     | 彼岸塔婆廻向 入りまでに申し込まれた塔婆の供養を中日法要に向けまず寺のみで行います       |
| 22日(木)     | 彼岸帳面廻向 彼岸中に檀信徒の50回忌までの全ての精霊の供養を順次行います。寺のみ       |
| 23日(金)     | 昼1:30~中日法要 塔婆本廻向・参詣者帳面廻向                        |
| 24-25(土・日) | 24日: 彼岸帳面廻向 22日の残り分の供養<br>25日: 昼3時~4時半「聖日別時念仏会」 |
| 26日(月)     | 朝9:30~結願法要 入り以降の受付分・永代供養他                       |

法要への参加について: 本来は檀信徒全員がお参りすべきでしょう。しかし、  
◎コロナの感染爆発中!: 彼岸までに少し治まるかは不透明ですので、**入り法要、中日法要、聖日別時念仏会、結願法要**へのお参りは自主判断ください。

◎彼岸会の法要の目的: 檀信徒さんのご先祖の供養です。彼岸会までに必ず供養の申し込みをお済ませください。電話・FAXでの申し込みもご利用下さい。

電話・FAX: 073-479-2634 供養料; 塔婆千円/1本、又は帳面300円/1本+志し(本尊前お供え)

◎お墓参りの正しい作法: ① お彼岸には、供養の申し込みや、お墓の掃除、お墓参りと、ご家族を連れてお寺にお参りくださる方もお見受けします。お寺にお墓を建てるのは、ご先祖がご本尊に見護られているだけではなく、私達のご本尊にお参りして功德を積みやすくするためです。

② 折角彼岸にお寺に参られてもご本尊には見向きもされないでお帰りになる方もおられます。そんな時は「ご存じでない」ということで住職が一声かけるべきとの意見もございますが・・・。

③ ともかくご本尊にお参りされて十念を称えられてからお墓にお参りください。あるいはお墓にお参りして最後にご本尊にお参りされ思う存分お念仏を称えるやり方もございます。いずれも正しい作法です。継続されることでお寺参りが意味あるものとなり皆様とお寺に功德が積もります。

## 9-12月行事予定

◎お寺の行事、11月には通常に戻せるといいのですが!

※「十夜法要」: 11月13日(日)

◎法話: 未定 午後1時半~

※「一斉清掃」: 10月30日(日)午前8時~

当番: 東及び11班、冬野が丘、安原及び繰り越し

※ 浄梵供養: 12月10日(土)午後1時~

※ 終い観音: 12月18日(日)午前9時~

※ 除夜の鐘: 12月31日(土)午後11時45分~